

経営協議会議事録
(令和6年度第2回)

令和6年6月27日(木)
13時00分から14時40分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 伊藤兵一 鈴木雅史 鈴木道子 谷口 功 西海和久 長谷川泉 横山広美
飯塚 博 出口 毅 根本建二 宮内健二 伊藤眞知子 瀬瀬 晃 土谷順彦

列席者

副学長 村山秀樹 大森 桂 コーエンズ久美子
監事 渡辺 均

欠席者

委員 萩原なつ子 吉村美栄子

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

1 経営協議会議事録(5月29日開催)の確認
玉手学長から、本会議事録(5月29日開催)について確認があり、議事録が了承された。

2 【協議】令和5年度決算について
根本理事から、令和5年度決算について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見等は次のとおり。

- ・ 厳しい中で、大変よくやっている。病院の利益を大学本体の会計に組み込まず、切り分けて考えてほしい。
- ・ 特に工学系では、企業等からの外部資金獲得に向け、いろいろな工夫をして頑張してほしい。

3 【報告】令和5年度附属病院の経営状況について
附属病院長から、議題に関して、報告があった。

本件に係る主な意見等は次のとおり。

- ・ 素晴らしい経営努力だと思う。人件費が少ないことで、必要な人材が集まっていないのでは懸念している。質の低下や医療事故の発生などにつながらないように、対策を講じてほしい。

4 【報告】キャンパス経営力評価(共通指標評価)について
玉手学長から議題に関して、報告があった。

5 【報告】令和5年度監事監査結果報告書について
渡辺監事から、議題に関して、報告があった。

6 【報告】国立大学協会声明について
玉手学長から、議題に関して、報告があり、経営協議会学外委員より、声明を発表することについて

て意見交換を行った。

本件に係る主な意見等は次のとおり。

- ・ 経営協議会の学外委員としての役割は、社会の目であり、大学の危機的状況を社会に発信していく役割があると思う。山形大学だけでなく、地方の国立大学の非常に危機的な状況を踏まえ、学外委員からの声明発信によって、山形県民や山形大学関係者に危機感を伝えることができると思う。学長からと学外委員からの声明2つ出してはどうか。
- ・ 山形大学としての声明を積極的に出す姿勢は非常に重要だと思う。高等教育機関としての山形大学の意義や、もっと良い社会になるためにすべきこと、学長がどう考えているかなど、統合した形で何か出せないか。
- ・ 病院の例がわかりやすいかと思うが、今までどういうことをしてきたかなど、地域との関わりをもっと具体的に示してはどうか。自治体等とタッグを組んで取り組んでいくべき。
- ・ 訴えが出れば報道され、効果は出ると思う。声明案の対象がわからないので、数字や固有名、山形大学が行っている事業を入れるなど、もっと県民の心に刺さるような具体的な内容にすべきではないか。
- ・ 現状維持のメッセージではなく、学長がどこを目指しているのかなど、もっと前向きなアプローチの文章にしたほうが良いのではないか。

7 【報告】令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の採択について

出口理事から、議題に関して、報告があった。

次回は、令和6年9月30日（月）に開催することとなった。